

第4章

地域別まちづくり方針

第4章 地域別まちづくり方針

地域別まちづくり方針について

【地域別まちづくり方針の考え方】

地域別まちづくり方針は、地域単位のまちづくりの指針であり、地域の特性や全体構想で示したまちづくり方針を踏まえ、地域住民にとって身近できめの細やかな「まちづくり方針」を示します。

【地域区分について】

地域区分については、現在の生活圏域を基本に、町村の合併経緯、地形や地域のまとまりなどを考慮して、右図に示すような3つの地域に区分しています。

三珠地域

(上野、大塚、下芦川、三帳、高萩、埜、中山、畑熊)

市川地域

(市川大門、印沢、高田、山保、下大鳥居、黒沢、八之尻)

六郷地域

(岩間、落居、楠甫、宮原、葛箆沢、鴨狩津向、五八、岩下、寺所)

■地域区分図



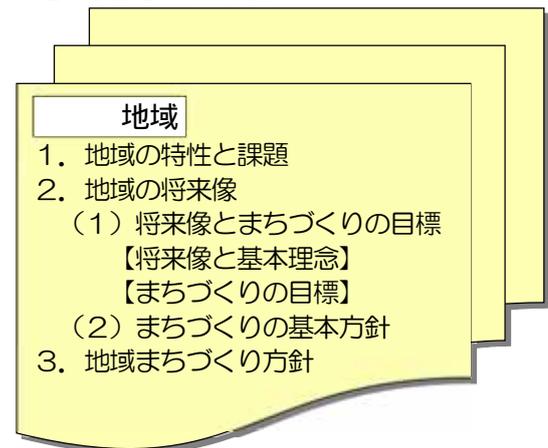
【地域別まちづくり方針の構成について】

地域別まちづくり方針は、3つの地域ごとに、地域の特性と課題、地域の将来像、地域まちづくり方針により構成しています。

地域まちづくり方針の施策は、全体構想の分野別まちづくり方針の中でも、その地域で取り組むべき主要なまちづくり施策を特化し簡潔に示しています。

「地域の将来像」(将来像と基本理念、まちづくりの目標)については、本計画が住民にとって身近に親しみがもてるよう、平成22年3月の都市計画マスタープラン策定にあたって開催した「まちづくり住民会議」等のこれまでの住民意向を反映し整理しています。

■地域別まちづくり方針



1 三珠地域まちづくり方針

■位置

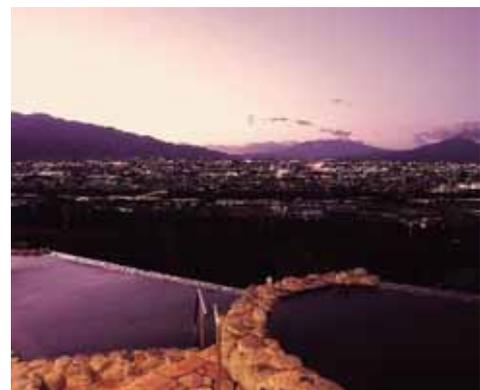
- ・三珠地域は、本町の東に位置し、北側は中央市、東側は甲府市、南側は身延町に隣接しています。
- ・芦川が地域中心を縦貫する自然骨格となっており、笛吹川の河川で形成された低地部扇状地の農地・集落地と、南部の御坂山系の山々を後背とした山地・丘陵地で構成されています。



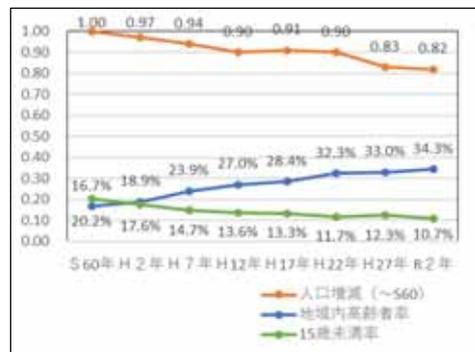
(1) 地域の特性と課題

① 地域の特性

- 人口・世帯数は令和2年現在 3,648 人、1,317 世帯で、近年、人口は横ばい傾向。地域内高齢者率は令和2年現在 34.3%と3地域の中では最も低く、15歳未満は 10.7%と3地域の中では高くなっているが、少子高齢化が着実に進行。
- 大塚古墳等の古代の文化遺産が多数存在する曽根丘陵は古代文化発祥の地とされる。歌舞伎文化公園一帯は武田信玄の時代に上野城が位置し、現在は歌舞伎の名門市川團十郎発祥の地として知られている。表門神社の約 900 年続く太々神楽の継承など数多くの歴史・文化資源がみられる。
- 笛吹川扇状地の肥沃な土壌に「大塚にんじん」や「甘々娘」の特産物を産する町内一の農業地帯だが、近年遊休農地が増加。また、大塚工業団地が位置している。
- JR 身延線の甲斐上野駅、芦川駅が位置し、笛吹川に並行し国道 140 号が地域北部を横断、(主) 甲府市川三郷線、丘陵部を通る金川曽根広域農道、山麓部を通る(主) 笛吹市川三郷線などが地域の骨格を形成。
- 三珠庁舎、上野地区周辺が生活拠点を形成し、歌舞伎文化公園、グリーンツーリズムの先進地となっているみはらしの丘みたまの湯周辺、芦川渓谷、千波の滝等の観光資源が分布。
- 丘陵地から芦川渓谷を経て御坂山地に至る豊かな自然環境や、高台からの甲府盆地や南アルプスの眺望など、扇状地に広がる田園や農村風景と相まった美しい郷土景観を形成している。



・みたまの湯から甲府盆地の夜景

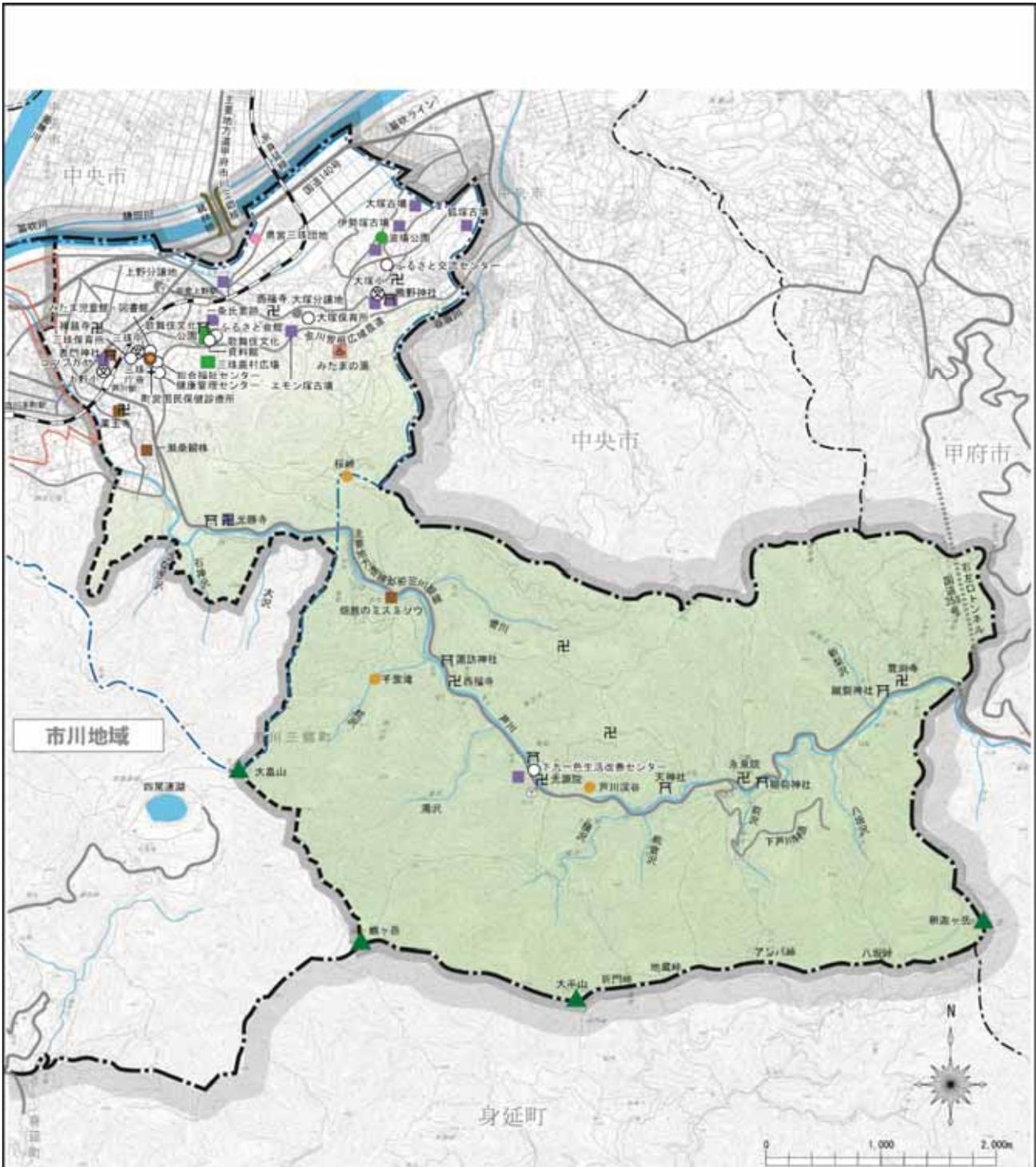


(資料: 国勢調査)

② 主要なまちづくりの課題

- 市街地の環境改善や優良農地を守る計画的な土地利用を進めるとともに、遊休農地や公有地等の土地の有効活用を図り、移住・定住促進や地域振興に結びつけることが求められています。
- 狭あい道路の拡幅など集落地内生活道路の改善と、体系的な道路・交通網の整備を進める必要があります。
- のっぴいブランドを誇る農業を核とした地場産業の活性化、良好な自然環境やみたまの湯周辺等の多様な地域資源を結びつけ、地域振興を図る取り組みを進める必要があります。
- 芦川等の自然環境、田園・里山の郷土の風景、良好な眺望景観、固有の歴史資源等を守り活かすことが求められています。
- 河川低地の市街地から奥行きある中山間地域の災害危険性を軽減・回避する安全な地域づくりが必要です。
- 既存ストックを活かす計画的な住環境整備を進め、安心・快適に暮らせるまちづくりを進める必要があります。
- 地域資源を再認識し、地域のまとまりや絆、コミュニティを育み、まちづくりに活かすことが大切です。

■三珠地域の現況特性図



凡 例

● 町役場庁舎	● 主な観光レクリエーション	— — — 行政界	— 国道
○ 公共公益施設	■ 温泉施設	— — — 都市計画区域界	— 県道・主要地方道
⊗ 教育施設	≡ 主な橋	— — — 用途地域界	— 主要な一般道
⊕ 医療施設	● 公営住宅	— — — 地域界	— 河川
● 公園	● 公営住宅地	— — — 鉄道・駅	▲ 主な山地
■ 主な指定文化財			
■ 主な天然記念物 (自然記念物含む)			
社 寺			

(2) 三珠地域の将来像

① 将来像とまちづくりの目標

■ 将来像と基本理念

<将来像>

農を中心とした交流を育み、
豊かな自然と田園に囲まれた快適に暮らせるまち

<基本理念>

地域の資源を活かし、みんなで知恵を出し合い住み続けられるまちづくり

地域が誇る大地の恵み「のっぴい」の農産物をはじめとして、四季を彩る芦川渓谷や潤いある清流、緑深い御坂山地の豊かな自然環境、丘陵地から扇状地に広がる田園農地や里山の美しい風景、山なみや甲府盆地の眺望景観、歌舞伎文化公園や古墳等の三珠の文化など、これらの豊かな資源を結び活かす交流を育み、地域の絆で知恵とチカラを出し合いながら快適に暮らせるまちづくりを目指します。

■ まちづくりの目標

- 農を介した交流が盛んな活気あるまちづくり
- 眺望や芦川の豊かな自然を育む魅力あるまちづくり
- 田園と里山を守る豊かで快適な居住環境づくり

② まちづくりの基本方針

1) 「農」を守る田園地域にふさわしい計画的な土地利用を進めます。

本町が誇るブランド農作物を産出する地域であり、優良農地の維持保全とともに、良好な住宅市街地の形成や計画的な宅地化の誘導による移住・定住の促進、農業集落環境の維持向上、水辺や森林等の自然環境の保全を図り、豊かな自然と調和した「農」を守る田園地域にふさわしい計画的な土地利用を進めます。

2) 体系的な道路・交通網の整備と暮らしのみちづくりを進めます。

(主)甲府市川三郷線や笛吹市川三郷線など、地域の骨格を形成する主要な道路の機能強化や、広域交通や地域間の連絡強化、身延線各駅利便性の向上などを促進するとともに、集落内生活道路の改善を推進し、暮らしやすさを支える体系的な道路・交通網の形成と暮らしのみちづくりを進めます。

3) 農と豊かな資源を活かした交流の盛んな活気あるまちづくりを進めます。

地域は農業を核としたグリーンツーリズムの先進地であり、みたまの湯周辺は日本夜景遺産にも登録されています。今後も、肥沃な土壌に培われたのっぴいブランドを中心とした地域振興の推進とともに、芦川等の豊かな自然環境や多様な地域資源との連携を図り、交流の盛んな活気あるまちづくりを進めます。

4) 豊かな自然環境を守り・育み、郷土の景観を誇るまちづくりを進めます。

紅葉の名所である芦川渓谷にホテルの舞う自然環境、田園農地の里山景観や眺望景観をはじめ、みたまの湯、歌舞伎文化公園などの文化遺産や地域資源を守り・育み、郷土を特徴づけ地域住民が誇る景観として積極的にまちづくりに活用するとともに、交流を促す観光レクリエーション活用を促進します。

5) 災害に強い安全な地域づくりを推進します。

市街地の木造密集住宅地の一部をはじめ、笛吹川の河川低地部の浸水被害や中山間地域の地滑り等の災害の危険性が指摘されています。そのため、自然災害に対する安全対策の強化や災害リスクに備えた災害に強い地域づくりを推進し、地域防災力の向上による災害に強い安全な地域づくりを推進します。

6) 地域の知恵と既存ストックを活かす安心・快適な住環境づくりを進めます。

誰もが地域に住み続けられるよう、地域に何が必要なのか既存ストックを十分に活かし、知恵を出し合うことが大切です。計画的な生活基盤整備をはじめ、豊かな環境を活かした移住・定住の促進、人にやさしいまちづくりなど、地域の絆を大切にしたい安心・快適な住環境づくりを進めます。

(3) 三珠地域まちづくり方針

1) 「農」を守る田園地域にふさわしい計画的な土地利用を進めます。

土地利用

① 市街地の環境改善と地域特性に応じた良好な住宅市街地の形成

- 上野地区・大塚地区など木造密集地域における建替え困難地域の改善と計画的な生活基盤整備の推進、地域特性に応じた良好な住宅市街地の形成
- 市街地内低未利用地の活用に向けた居住環境の向上と地域の活性化に資する積極的な活用
- 三珠庁舎周辺の都市機能の集約化など、コンパクトでまとまりある地域生活拠点の形成
- 上野地区周辺既存商店街の魅力づくり、店舗・生活サービス機能の維持
- 国道140号、(都)籠鼻川浦線、(主)甲府市川三郷線の一部沿道における、住宅をはじめ地域に身近な店舗・サービス施設、交流施設、観光農園等が立地する生活利便性の高い複合的な土地利用の誘導
- 高速交通体系のポテンシャルを活かした、大塚工業団地周辺の産業拠点にふさわしい機能拡充と産業振興に寄与する企業誘致の促進



・(主) 甲府市川三郷線

② 計画的な宅地化の検討

- リニア中央新幹線の開通を見据え、移住・定住促進に向けた計画的な宅地化の検討
- (都)籠鼻川浦線周辺や三珠支所周辺における、沿道の優良農地と共生する住環境の基盤整備、計画的な宅地化の検討

③ 優良農地の保全、良好な農業集落環境の維持

- 市街地周辺や中山間地域の農業集落環境の維持・改善、豊かな環境と共生した農業集落地の形成
- 笛吹川沿川の水田や東部の樹園地帯などの優良農地の維持・保全と農業基盤整備の促進
- 遊休農地の有効活用の促進(農地バンク等による営農希望者への斡旋、体験農業への活用など)
- 再生困難な荒廃農地の実情に即した森林等への土地利用転換の調整検討
- 中山間地の森林資源や市街地南側の斜面樹林、里山の維持・保全と活用(林業振興、放置山林等の維持管理とレクリエーション活用など)
- 中山間地域の過疎対策の推進(中山間地域総合整備事業の検討、移住や新規就農者確保に向けた空き家・遊休農地の有効活用、生活支援体制支援事業による生活サポートなど)

2) 体系的な道路・交通網の整備と暮らしのみちづくりを進めます。

道路・交通

① 地域の骨格を形成する主要な幹線道路網の強化と身近な交通環境の改善・整備

■骨格的な幹線道路網の整備・強化

- 甲府圏域を結ぶ国道140号の機能強化、(都)籠鼻川浦線の延伸整備の推進(国道140号～中央市の(都)田富西通り線間を結ぶ構想路線)
- (主)甲府市川三郷線、(都)大門桃林線等、地域間をネットワークする道路網の強化
- 交流人口拡大や災害時の連携に重要な(主)笛吹市川三郷線の機能強化の促進(2車線化に向けた拡幅整備)
- 金川曾根広域農道の全線歩道整備、サイン整備の検討、道路機能の強化、魅力の向上の促進



・国道140号

■主要生活道路の改善・整備

- その他市街地や集落地域を結ぶ町道など主要生活道路の改善・整備

② 公共交通の利便性の向上

- JR 身延線の利便性の向上と観光利用の促進、甲斐上野駅、芦川駅のパークアンドライドの促進、サイクルオアシス・駐輪場の整備、サイクルトレインの促進
- コミュニティバスなどバス交通利便性の充実、町民の利用しやすい公共交通の検討

③ 安全で快適な暮らしのみちづくり

- (主) 甲府市川三郷線等、主要幹線道路や通勤・通学ルート of 歩道の改善・整備、路側帯の確保、通過交通を抑制した歩行者を優先した安全で快適なみちづくりの推進
- 観光施設周辺主要道路の自転車通行帯の整備促進
- 交差点の改善や地域実情に即した交通規制の検討など交通安全対策の強化

3) 農と豊かな資源を活かした交流の盛んな活気あるまちづくりを進めます。

地域振興・活性化

① のっぴいブランドの確立と農を中心とした地域振興

- グリーンツーリズム先進地の充実強化、都市と農山村の交流促進（滞在型農林業体験、農泊やキャンプ、農場産業体験ツアーの拡充、エコツーリズムの展開など）
- 観光農業の振興促進（農業体験型観光の推進、観光農園、体験農園等の遊休農地の有効活用、みたまの湯の温泉施設等を活用した農産物や特産品の直販ルートの拡大、地産地消の促進など）
- のっぴいブランドの強化と地域農業の高付加価値化の促進（農業基盤整備の促進、農業と異業種との連携、後継者・担い手育成など生産支援体制の強化、甘々娘や大塚にんじん等を活用した農業の6次産業化や特産品の充実、新たな商品開発と戦略的な広報・販売活動の強化、町境に建設される山梨西部広域環境組合のごみ処理施設の廃熱エネルギーの活用、企業誘致による周辺地域の特産品の活用検討など）



・大塚にんじん収穫祭

② まちの拠点等の機能充実と魅力の向上

- 上野地区周辺の生活利便施設やサービス機能の維持、身近な交流機能を担う地域生活拠点の形成と魅力の向上
- 地域ぐるみによる生活に身近な商店街機能の維持（地域商業にぎわい創出支援事業の活用など）

③ 地域資源を結び活かす交流を創出するまちづくりの推進

- 観光レクリエーション拠点や観光資源の機能充実と魅力の向上（みたまの湯、歌舞伎文化公園、芦川溪谷、桜峠、千波の滝等など）
- 三珠地区活性化拠点整備事業に基づくみたまの湯周辺のふるさと交流拠点の整備検討（農産物直売加工施設や農家レストラン等の飲食施設、体験施設や宿泊施設の整備など）
- 水辺や豊かな自然資源の活用（笛吹川・芦川や千波の滝等の親水空間、森林・里山等のレクリエーション活用）
- 歴史文化資源を活用した活性化の推進（大塚古墳等の遺跡・史跡、文化財など）
- 観光基盤・観光ルートの整備と魅力づくり（国道 140 号、(主) 甲府市川三郷線の広域観光ルート、金川曾根広域農道や(主) 笛吹市川三郷線等の主要観光路線の機能強化の促進、金川曾根広域農道～みたまの湯～桜峠を結ぶルートづくり（桜峠林道の活用）、芦川溪谷や蛾ヶ岳の登山道・遊歩道の充実、マウンテンバイクフィールドの整備、駅から観光施設へのアクセス強化など）
- 伝統行事・祭の継承とイベントの充実、積極的な観光 PR の展開（ぼたんの花まつり、表門神社の太々神楽、大塚にんじん収穫祭、新たなイベントづくりなど）

4) 豊かな自然環境を守り・育み、郷土の景観を誇るまちづくりを進めます。

水と緑、景観

① 山・川・里の豊かな自然環境の保全と活用

- 芦川渓谷周辺の豊かな自然環境の保全と活用（渓谷と森林資源の保全、芦川渓谷を巡るツアーなど）
- 桜峠周辺の自然環境の活用（里山の再生、桜峠周辺の自然公園化、散策ルートづくりなど）
- 良好な水辺環境の保全とレクリエーション活用（笛吹川、芦川、千波の滝、湯桶の釜など）
- 市街地後背の斜面樹林の風致の維持、表門神社のコツブガヤなどの文化財や史跡等の緑の保全
- 芦川渓谷等のホテルや畑熊のミスミソウなど、貴重な動植物の生息環境の維持・保全
- 自然環境に配慮した環境負荷の軽減と循環型社会をめざす環境にやさしいまちづくりの推進

② 優れた眺望と良好な景観資源を守り・活かす景観まちづくりの推進

- 芦川沿いの自然景観や市街地後背の里山景観、扇状地から広がる田園・樹園景観の保全
- 眺望と夜景を誇る景観づくり（夜景を誇るみはらしの丘・みたまの湯、蛾ヶ岳等の尾根筋等からの富士山や盆地、山並みを望む雄大なパノラマ景観、丘陵地や金川曾根広域農道など眺望域の保全と景観コントロール、眺望場所の魅力の向上など）
- 芦川沿いの谷筋などの中山間地域に点在する自然や里山と一体となった農山村集落景観の保全
- 歴史・文化的景観の保全と活用（大塚古墳等の遺跡・史跡、歌舞伎文化公園など歴史的景観資源、光勝寺の仁王門等の歴史的建造物、やまなしの歴史文化公園（みたまの里エリア）の郷土景観など）
- 新たな景観拠点づくりの推進（三珠庁舎周辺の地域生活拠点の魅力の向上、景観形成推進ゾーン（みはらしの丘・みたまの湯周辺）の先導的な景観形成の推進、身近な景観スポットの創出など）
- 多様な景観ネットワークの形成（金川曾根広域農道や歌舞伎文化公園周辺のぼたん回廊づくり、里山散策ルート、芦川渓谷や蛾ヶ岳周辺のトレッキングコースや登山環境の整備・充実）
- 地域特性に即した適切な景観コントロールの推進



・芦川渓谷

5) 災害に強い安全な地域づくりを推進します。

防災

① 水害や崖崩れなどの安全対策の強化

- 笛吹川や芦川等の治水対策の強化、浸水被害の未然防止に向けた上野、大塚地区の排水機場の改修整備の促進
- 中山間地域や芦川沿い、（主）笛吹市川三郷線等の主要道路の崖崩れや土石流等に対する適切な安全対策の強化、治山対策の促進
- 立地適正化計画の策定と計画に基づく災害リスクを考慮した安全な地域への居住誘導、災害危険の高い地域の防災機能の向上と安全確保

② 災害に強い地域づくりの推進

- 上野地区や大塚地区周辺の木造密集住宅地や消防活動困難区域の安全性の向上（狭あい道路・行き止まり道路の改善、老朽住宅の建替え、耐震化・不燃化の促進、避難ルートの確保、ブロック塀の改善など）
- 防災拠点や防災関連施設の充実・強化（避難場所の機能充実など）
- 中山間地域の孤立化を回避する防災対策の強化（適切な迂回路の検討、防災ヘリポートの充実など）

③ 地域防災力の育成・強化

- 「洪水ハザードマップ」や「土砂災害ハザードマップ」の周知徹底など積極的な情報公開の推進
- 地域防災体制の育成強化、自助共助の意識啓発活動の促進（地域単位の防災マップ作成・周知など）

6)地域の知恵と既存ストックを活かす安心・快適な住環境づくりを進めます。

① 計画的な生活基盤整備と良好な住環境づくりの推進

- 地域の実情に即した生活道路の段階的な改善・整備、木造密集地域における拡幅整備、歩道整備による安全な通学路等の確保
- 公有地や既存施設の利活用による市街地・集落地に不足する身近な公園・広場の確保
- 公共公益施設など生活利便施設の充実、既存施設や空き施設等の有効活用
- 老朽化した教育施設の改善・整備
- 公共下水道の整備・下水道への接続促進、合併処理浄化槽の普及促進
- 森林や河川、水路等へのごみ不法投棄の防止

② 定住を促す住まいづくりと豊かな環境を活かした移住・定住の促進

- 開発圧力が高まることが想定される三珠支所周辺等の生活基盤整備と併せた適正な宅地化の検討
- 定住を促す良質な住まいづくりの推進（定住促進に向けた公営住宅の有効活用など）
- 大塚地内へのPFI（民間資金と経営能力）を活用した町営住宅整備の促進
- 若者や子育て世代等の移住・定住の促進（空き家バンク制度や遊休農地を活用したファームステイ、農地付き・菜園付き住宅等の農業施策との連携、「お試し住居」等の施策展開など）

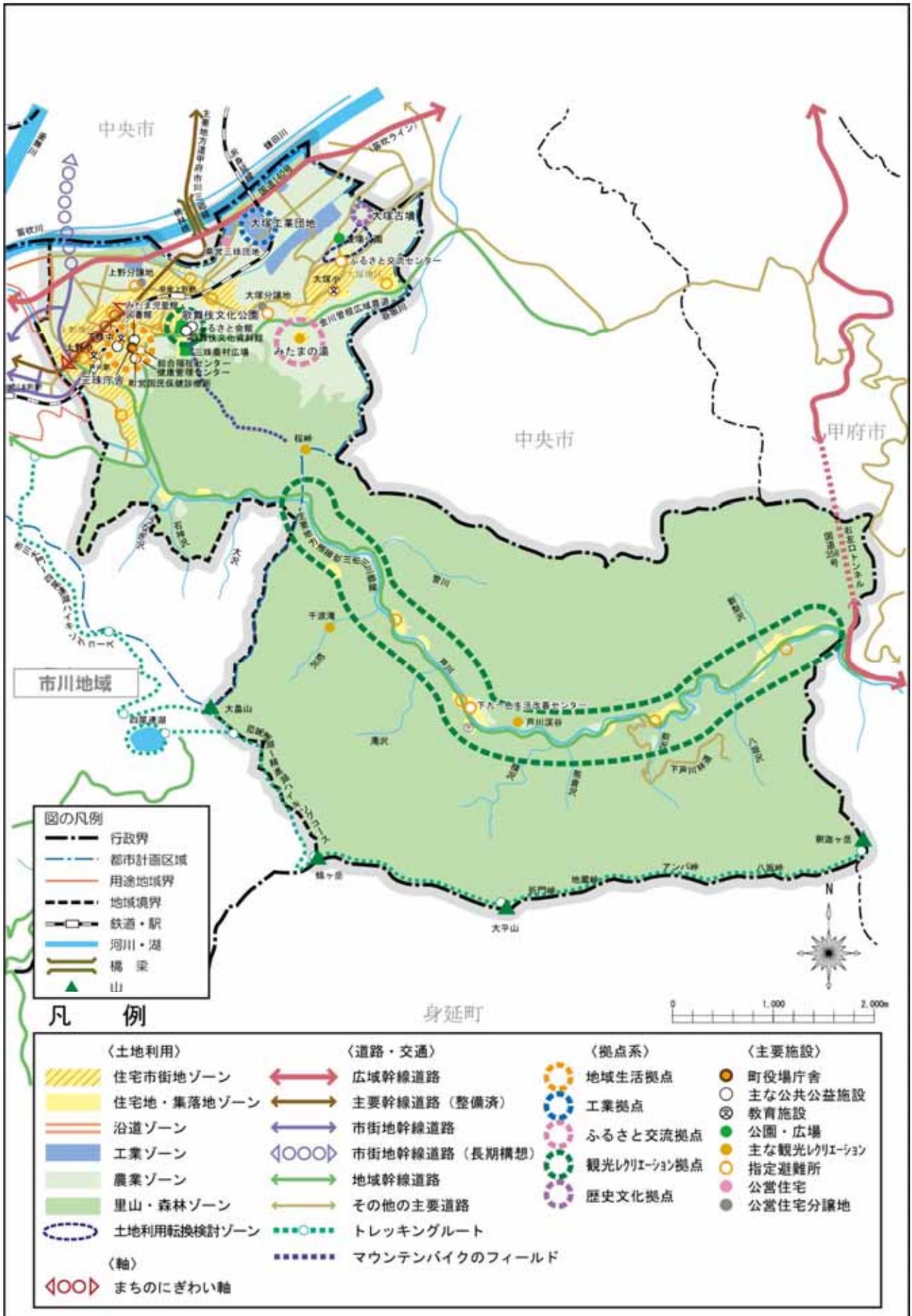
③ 地域の絆を育む誰もが安心して暮らせる人にやさしいまちづくりの推進

- 主要施設のバリアフリー化の推進（既存公共施設の改善、道路・歩行者空間、公園・広場、文化交流施設等のバリアフリー化）
- 安心して暮らせる福祉と健康のまちづくりの推進
 - ・福祉施設の機能充実、地域福祉の充実と福祉のまちづくりの推進
 - ・地域ぐるみの子育て環境・子育て支援の充実
 - ・地域医療の充実と医療機関の連携強化による地域医療体制の強化
 - ・健康増進に資するみたまの湯の有効活用など健康まちづくりの推進
- 地域のまとまりを大切にすコミュニティの活性化（自治活動の持続、ふるさと意識の醸成など）



・波場公園からの眺望

■地域まちづくり方針図ー三珠地域



注) 公共施設の配置については、「行財政改革推進計画」の進捗状況に応じて変わります。

2 市川地域まちづくり方針

■位置

- ・市川地域は、本町の中央に位置し、北側は南アルプス市、西側は富士川町、南側は身延町に隣接しています。
- ・本町の中心市街地を形成しており、笛吹川と釜無川の合流部に形成された低地部扇状地の農地・住宅地と、道路や河川に沿った集落地、南側の県立四尾連湖自然公園周辺の森林・山地で構成されています。



(1) 地域の特性と課題

① 地域の特性

- 人口・世帯数は令和2年現在 8,446 人、3,400 世帯で、町総人口の6割近くが地域に集中しているが人口は減少傾向。地域内高齢者率は令和2年現在 36.9%と4割近くを占め、少子高齢化が着実に進行。
- 1,300 年の歴史を誇る地場産業の市川和紙、信玄時代の烽火を起源とする花火、富士川舟運の要衝、旧街道の市川陣屋等の歴史的建造物、神明の花火大会や祇園祭り等の行事等の継承など、伝統産業や固有の歴史文化が色濃く残る。
- 中心市街地は、木造建物の密集と老朽化、空き家や低未利用地、建替え困難敷地が多く分布し、高田地区周辺では宅地化が進行。中心商店街は空き店舗が多く停滞傾向にあり空洞化が進行。
- JR 身延線の市川本町駅、市川大門駅、鯉沢口駅が位置し、国道 140 号、(主) 甲府市川三郷線、市川三郷富士川線が地域を横断、(県) 四尾連湖公園線が地域を縦断するなど幹線道路の骨格を形成。地域西側は中部横断自動車道増穂 IC に近接し、交通渋滞緩和のため黒沢バイパスが整備されている。
- 市川三郷町本庁舎や生涯学習センター、青洲高校周辺の行政文化拠点、高田地区公民館周辺、大同地区公民館周辺の地域の生活拠点、また、大門野林公園、甲斐源氏旧跡、市川陣屋跡、県立自然公園四尾連湖周辺、笛吹川多目的広場周辺等の観光資源が分布。
- 天然の山間湖で県内有数の景勝地である四尾連湖周辺の豊かな自然環境や、高台からの眺望景観、歴史的建造物や「ひや」と水路のまちなみなどが、落ち着いたたたずまいや歴史・文化の香りを醸し出す風情ある地域景観をみせている。



・四尾連湖

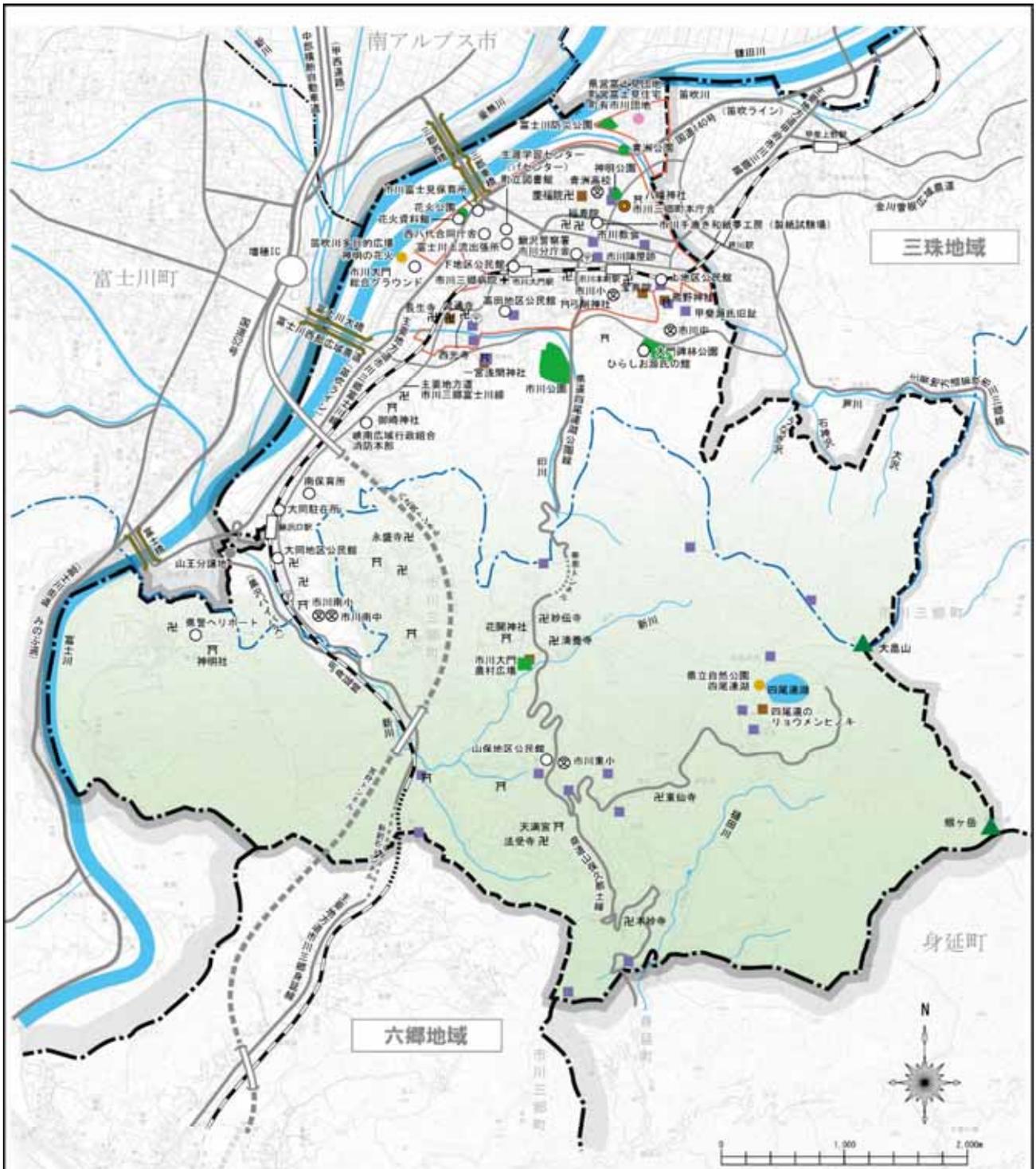


(資料:国勢調査)

② 主要なまちづくりの課題

- 中心市街地の空洞化対策や計画的な市街地整備、人口の維持・増進に向けた都市機能の集約・強化によるまちなか居住の促進、建物密集地域の改善や空き地・空き家対策、無秩序な市街地拡大への対応など、地域特性に応じた適切な土地利用の誘導を図ることが必要です。
- 中心市街地の骨格を形成する道路網の再編・整備、密集地域の建替え困難対策と併せた狭あい道路の改善、地域実情を考慮した都市計画道路の見直し、市街地の安全・快適な歩行者のみちづくりが必要です。
- 中心市街地の活性化や中心商店街の再生、豊かな環境や歴史文化資源等を活用した地域振興、和紙や花火等の伝統産業など、多様な資源を連携させ本町の顔にふさわしい活力あるまちづくりが求められています。
- 四尾連湖周辺等の豊かな自然資源の保全と活用、中心市街地の歴史文化的なまちなみ景観の育成、歴史文化資源や眺望景観など、多様な景観資源を擁する本地域の先導的な景観まちづくりが求められています。
- 水害や土砂災害対策をはじめ、市街地の防災・減災対策の強化など安全・安心な地域づくりが必要です。
- 中心市街地等の生活基盤整備の充実と移住・定住の促進など快適で利便性の高い住環境づくりが必要です。
- 「ひや」を介した地域の絆を大切にし、住民のまちづくりへの想いや活動を十分に活かすまちづくりが重要です。

■市川地域の現況特性図



凡 例

● (Orange)	町役場庁舎・出張所	● (Yellow)	主な観光レクリエーション	— (Dashed)	行政界	— (Double Line)	高規格道路
○ (White)	公共公益施設	♨ (Red)	温泉施設	— (Dotted)	都市計画区域界	— (Single Line)	国道
⊗ (Black)	教育施設	— (Thick)	主な橋	— (Dashed)	用途地域界	— (Thin)	県道・主要地方道
⊕ (Black)	医療施設	● (Pink)	公営住宅	— (Dotted)	地域界	— (Thin)	主要な一般道
● (Green)	公園	● (Grey)	公営住宅地	— (Thick)	鉄道・駅	— (Blue)	河川
■ (Purple)	主な指定文化財					▲ (Green)	主な山地
■ (Brown)	主な天然記念物						
⌘ (Black)	社 寺						

(2) 市川地域の将来像

① 将来像とまちづくりの目標

■ 将来像と基本理念

<将来像>

風格ある歴史文化を誇り、地域の絆と思いやりを育む
おだやかに住み続けられるまち

<基本理念>

地域協力を惜しまない心豊かなつながりを大切に！

古来より培われた花火と和紙の伝統技術や舟運の歴史など、地域は固有の郷土文化や風情あるまちなみが息づいています。また、日々の営みの中でひやを介した人と人の顔がみえる地域の絆など、人を活かし技を誇る伝統を継承し育んできました。この潜在する豊かさと魅力を秘めた地域資源を活かすとともに、風格ある歴史文化を誇り、地域協力を惜しまない絆と心豊かなつながりを大切に、おだやかに住み続けられるまちづくりを進めます。

■ まちづくりの目標

- 歴史文化を継承し活かす個性と賑わいあるまちづくり
- 地場産業を大切に守り育むまちづくり
- 生活基盤の整った快適で利便性の高いまちづくり

② まちづくりの基本方針

1) 中心市街地の再生と地域特性に応じた適切な土地利用の誘導・形成を図ります。

中心市街地の再生に向け、都市機能の集約・強化、まちなか居住の促進、計画的な市街地整備と適切な土地利用誘導を推進するとともに、国道 140 号等の幹線道路沿道の計画的な土地利用誘導、優良農地の保全や集落環境の維持向上を進め、中心市街地にふさわしい土地利用の誘導・形成を図ります。

2) 市街地道路・交通網の再編・整備と歩いて楽しいみちづくりを進めます。

中心市街地の道路・交通網の再編を図るため、骨格をなす幹線道路網や地域間交通ネットワークの機能強化、都市計画道路の再編・整備の検討とともに、防災性を考慮した生活道路の改善・整備を図ります。また、公共交通の利便性の向上とコミュニティを育む安全で快適な歩いて楽しいみちづくりを進めます。

3) 中心市街地の活性化と伝統産業や資源を活かした地域振興を展開します。

中心市街地の再生と活性化は本町の重要な課題のひとつです。中央通りなどの中心商店街の再生や伝統産業の活用、歴史文化など魅力ある資源を活用した地域振興、固有のまちなみ景観の形成を推進し、まちの顔にふさわしい、住む人訪れる人の交流が豊かな、活気と賑わいあるまちづくりの展開を図ります。

4) 固有の歴史文化や「水の都」を継承する先導的な景観まちづくりを推進します。

舟運の歴史やまちなかを巡る水路、山上の天然湖四尾連湖など、豊かな潤いある水環境が和紙・花火の伝統産業や固有の歴史文化、郷土の風景を育んできました。この「水の都」のなりわいや記憶を継承し、中心市街地の景観形成や地域の魅力や心地よさを五感で感じる先導的な景観まちづくりを推進します。

5) 災害に強く頼りになる安心・安全なまちづくりを推進します。

笛吹川・釜無川が合流する低地部の浸水被害や中山間地域の地滑り等の自然災害に対する安全対策の強化、密集住宅地の改善や防災拠点機能の充実・強化など都市の防災・減災対策の強化、地域の絆を頼りとした災害対応力の充実・強化により、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進します。

6) 安心・快適、おだやかに住み続けられる住環境づくりを進めます。

地域の文化や暮らしの豊かさを誰もが享受できるまちを目指し、中心市街地や集落地の生活基盤の整備・充実と快適・利便性の高い住環境づくりの推進とともに、中心市街地の衰退を回避するまちなか居住と移住・定住の促進、人にやさしいまちづくりを推進し、おだやかに住み続けられる住環境づくりを進めます。

(3) 市川地域まちづくり方針

1) 中心市街地の再生と地域特性に応じた適切な土地利用の誘導・形成を図ります。

土地利用

① 中心市街地の再生と活性化の推進

- 本町の顔にふさわしい基盤整備、行政、商業・業務、子育て等の生活支援、文化、情報、交流等の都市機能の集約・強化
- 都市計画道路整備と併せた交通環境、防災機能、まちなみ景観の向上とともに、集約型都市構造の実現に向けた市街地の拡大抑制、土地の高度利用等による賑わいと活気ある中心市街地の再生
- 行政文化拠点である市川三郷町本庁舎、生涯学習センター、青洲高校周辺の機能強化、町民の文化・交流活動を先導する拠点としての機能充実と魅力の向上



・市川三郷町本庁舎

② まちなか居住の促進

- 中心市街地の街路・住環境整備と併せた土地利用の誘導と効率化によるまちなか居住の促進（低未利用地・空き家、既存の社会資本ストックの有効活用、良質な住宅地の供給（公的・民間住宅）と町分譲地への居住促進、建替え・共同化、低廉で魅力ある住まいづくりなど）
- 高田地区、下大鳥居地区の一部等の、優良農地の保全と適正な宅地化の検討
- 住宅・生活サービス施設等の立地誘導、医療・福祉機能の充実など都市機能の集約による利便性の向上、歩いて暮らせるまちづくりなど安全で快適なまちなか居住の促進

③ 良好な環境と共生した計画的な市街地整備と適切な土地利用の誘導

- 生活基盤整備の促進と計画的な宅地化誘導によるコンパクトで良好な住宅市街地の形成
- 市川地区中央部や高田地区周辺の防災・居住環境向上に向けた老朽木造密集住宅地の改善（狭あい道路の改善と残地処分手法の検討、建物の不燃化・建替えの促進、低未利用地、空き地・空き家対策の促進と有効活用、公園・広場等オープンスペースの確保など）
- （都）大門桃林線、（都）市川本通り線、（都）南通り線周辺の建替え困難地域の解消（都市計画道路整備と併せた沿道整備等の検討、連担建築物設計制度の促進、接道不良対策の充実、建替えのルールづくりなど）
- 高田地区公民館、大同地区公民館周辺の地域特性を活かした身近な機能を担う地域生活拠点の形成
- 市川地区中央部の賑わいある中心商店街の再生、黒沢地区などの既存商店立地地区の身近な商業機能の維持
- 国道140号、（都）役場前線、（主）甲府市川三郷線、（主）市川三郷富士川線の一部沿道の、住宅をはじめ地域に身近な店舗・サービス施設、交流施設などが立地する生活利便性の高い複合的な沿道ゾーンの形成と一定のルールに基づく計画的な土地利用、沿道まちなみ誘導の促進
- 国道140号沿道の大型店舗跡地周辺の用途地域の見直しの検討
- 既存工業集積地周辺の産業基盤整備と機能充実、地域環境や景観に配慮した良好な工業地の形成



・（都）市川本通り線沿いの中心市街地

④ 優良農地や里山の保全と活用、良好な農業集落地の形成

- 市街地周辺や中山間地域の農業集落環境の維持・改善、適切な土地利用誘導
- 市街地内農地の計画的な保全と利活用、笛吹川扇状地の水田や高田地区、下大鳥居地区、黒沢地区などの優良農地の保全、農業基盤整備の促進
- 遊休農地の有効活用の促進（農地バンク等による営農希望者への斡旋、体験農業、観光農園、景観緑地への活用など）

- 荒廃農地の実情に即した森林等への土地利用転換の調整検討
- 中山間地の森林資源や市街地南側の斜面樹林、里山の維持・保全と活用（林業振興、放置山林等の維持管理とレクリエーション活用など）
- 中山間地域の過疎対策の推進（中山間地域総合整備事業の検討、移住や新規就農者確保に向けた空き家・遊休農地の有効活用、生活支援体制支援事業による生活サポートなど）

2) 市街地道路・交通網の再編・整備と歩いて楽しいみちづくりを進めます。

道路・交通

① 中心市街地の円滑な市街地幹線道路網の再編、主要幹線道路網の強化

■ 中心市街地にふさわしい道路網の再編・整備促進

- （都）役場前線の未整備区間の整備検討（適切な幅員等の見直しと（都）南通り線までの延伸検討、商店街区間のまちなみや賑わい、歩行者等に配慮した暮らしのみちづくり）
- 中心市街地幹線道路網の機能強化（（都）大門桃林線の（都）役場前線以西の区間及び（都）西条高田線の（都）大門桃林線との交差点～（都）市川本通り線（市川大門中央通り）との交差点間の道路拡幅）
- 将来交通需要への適切な対応、地域実情に即した（都）高等学校前線、（都）市川本町駅前線、（都）橋場高田線、（都）本町駅芦川線の都市計画道路網の見直し・再編の検討
- 中心市街地を東西に横断する3線*の機能強化と3線を結ぶ生活道路網の再編



・（都）大門桃林線

■ 骨格的な幹線道路網の整備・強化

- 広域幹線道路である国道 140 号の機能強化
- （主）甲府市川三郷線、（主）市川三郷富士川線など地域間をネットワークする道路網の強化
- （県）四尾連湖公園線の機能強化の促進（防災対策等危険箇所の改善整備、サイン整備の検討など）
- 金川曾根広域農道の全線歩道整備、サイン整備の検討、道路機能の強化、魅力の向上の促進

■ 主要生活道路の改善・整備

- その他市街地や集落地域を結ぶ町道など主要生活道路の改善・整備

② 公共交通の利便性の向上

- JR 身延線の利便性の向上と観光利用の促進、市川大門駅、市川本町駅、鰍沢口駅のパークアンドライドの促進、サイクルオアシス・駐輪場の整備、サイクルトレインの促進
- コミュニティバスなどバス交通利便性の充実、町民の利用しやすい公共交通の検討

③ 安全で快適な歩いて楽しいみちづくり

- （主）市川三郷富士川線など主要幹線道路や通勤・通学ルートへの歩道の改善・整備、路側帯の確保、中心商店街等の通過交通を抑制した歩行者を優先した安全で快適なみちづくりの推進
- 中心市街地や観光施設周辺主要道路の自転車通行帯の整備促進、回遊性のある歩いて楽しいみちづくり
- 交差点の改善や地域実情に即した交通規制の検討など交通安全対策の強化

3) 中心市街地の活性化と伝統産業や資源を活かした地域振興を展開します。

地域振興・活性化

① 中心市街地の再生と活性化の推進

■ 中心市街地の再生と活性化の推進

- 本町の顔となる中心市街地の先導的な景観まちづくりの推進（歴史文化、伝統産業、水路・「ひや」の活用、蛍の舞うまちなみのまち歩き観光の検討など）
- 回遊性のある歩行空間の形成（ポケットパーク・サイン整備、小広場、せせらぎ水路、散歩道など）

注) * 3線：北線（（都）大門桃林線の一部）、中央通り（（都）市川本通り線）、南線（（都）南通り線及び（都）本町駅芦川線の一部）のことを示します。

■行政文化拠点のまちづくりの推進

- 市川三郷町本庁舎、生涯学習センター、青洲高校周辺の行政文化機能、文化コミュニティ機能の充実、町の顔となる景観形成、町民の文化・交流活動を担う拠点機能の充実と魅力の向上

② 商店街活性化の促進

- 商店街の活性化と魅力の向上（地域商業にぎわい創出支援事業の活用、観光産業と連携した商業振興や地域資源を活用したビジネスモデルの展開など）
- 中央通り商店街の再生（空き店舗・空き家の有効活用（町屋活用の店舗再生、アンテナショップなど）、伝統産業と連携した活性化の推進、駐車場・街灯整備など）
- 歩いて楽しい商店街の創出（休憩スポット整備、案内標示、まちかどギャラリー、散策マップ作成など）

③ 郷土の風景・地域資源を活用した活気あるまちづくりの推進

- 観光レクリエーション拠点や観光資源の機能充実と魅力の向上（大門碑林公園の将来の施設のあり方の検討、四尾連湖周辺の観光基盤整備、花火資料館の充実など）
- 笛吹川多目的広場周辺の親水空間の利活用と花火会場（階段護岸）の付加価値の向上、地場産業を活かした周遊活性化と花火を中心とした地域振興
- 固有の歴史文化の観光活用とフットパス等による交流活動の促進（土蔵造りの商家や市川教会等の近代化遺産、「ひや」や小水路・辻空間が巡る小径、宿場の歴史文化的建造物など）
- 水辺や自然資源を活用した都市住民との交流促進（笛吹川や富士川の舟運の歴史、伝統産業と連携した豊かな水環境を活かしたフットパス、県立四尾連湖自然公園のエコツーリズムの展開と自然体験学習や森林教育、森林のレクリエーション活用など）
- 観光基盤・観光ルートの整備と魅力づくり（国道140号、（主）甲府市川三郷線等の広域観光ルート、金川曾根広域農道や（県）四尾連湖公園線等の主要観光路線の機能強化の促進、四尾連湖線トレイルランや登山道、蛾ヶ岳ハイキングコース等の環境整備、マウンテンバイクのフィールド整備など）
- 伝統行事・祭の継承と観光と伝統産業が連携したイベントの充実、積極的な観光PRの展開（全国屈指の神明の花火大会、祇園祭、御幸祭、百祭りなど）



・ 笛吹川多目的広場

④ 伝統産業や地場産業の振興による活性化の推進

■伝統産業の振興と活性化の推進

- 和紙、花火等の伝統産業の育成と活性化（3地域の伝統産業の連携強化と啓発活動、花火資料館等の施設の有効利用、伝統産業体験学習の推進、異業種との連携による新たな製品開発の促進など）
- 手漉き和紙・製紙産業を活用した新たな観光産業の創出、豊かな森林資源の積極的な観光利用
- 笛吹川多目的広場周辺と中心市街地との連携による花火など伝統産業の積極的なPR活動の展開

■農業など地場産業の振興

- 農業の振興・活性化（農業基盤整備の促進、遊休農地の有効活用、農業と異業種との連携、後継者・担い手育成など生産支援体制の強化、農業の6次産業化や特産品の充実、地産地消の促進など）
- 都市と農山村の交流促進（グリーンツーリズム、観光農園・体験農園、農産物直売所の充実、農山村の特色を活かした農業体験型観光の推進、地場産業体験ツアー事業の展開など）

4) 固有の歴史文化や「水の都」を継承する先導的な景観まちづくりを推進します。

水と緑、景観

① 豊かな自然環境の保全と活用

- 本町の代表的な自然資産である県立自然公園四尾連湖周辺自然環境の積極的な保全
- 山地・森林資源の保全と維持管理の推進、市街地後背の斜面樹林の風致や森林の維持
- 特色ある水辺空間の保全と創造（河川や湖、沢、水路の良好な水辺環境の保全とレクリエーション活用）
- 四尾連湖のリョウメンヒノキ等の天然記念物、ホテルなど貴重な動植物の生息環境の維持・保全
- 自然環境に配慮した環境負荷の軽減と循環型社会をめざす環境にやさしいまちづくりの推進

② まちの顔となる中心市街地の景観形成

- 市川地区中央部周辺の文化財や市川教会、土蔵造りの町屋、洋館風建築物等の歴史的建造物、市川陣屋跡等の旧街道の歴史文化資源、社寺と鎮守の森、伝統的な産業・祭事等を活用した、歴史文化を継承し活かす景観まちづくりの推進
- 水路と「ひや」、辻の周辺を活かした小径づくり、まちかど広場やサイン整備、狭あい道路の改善・整備など良好なまちなみ景観の形成
- 市川三郷町本庁舎、生涯学習センター、青洲高校周辺の町の顔となる行政文化拠点の景観形成



・市川教会

③ 歴史文化や地域資源を活かす先導的な景観まちづくりの推進

- 歴史・文化的景観の保全と活用（甲斐源氏旧跡や夢想国師関連の旧跡、社寺が集積する平塩の岡周辺、やまなしの歴史文化公園（甲斐源氏の里エリア）の郷土景観など）
- 歴史景観資源の顕在化と活用（大門碑林公園の原碑・書の文化、和紙・花火等の伝統技術、祇園祭、御幸祭等の伝統行事、その他遺跡・史跡、道祖神・地蔵など）
- 笛吹川多目的広場周辺の親水空間と伝統産業が連携した新たな賑わい・交流景観の創出
- 和紙、花火などの伝統技術の継承と花火資料館との連携
- 蛾ヶ岳からの富士山の眺望、丘陵地からの甲府盆地や南アルプス等の眺望景観の保全と活用（眺望域の保全と景観コントロール、眺望場所の魅力の向上など）
- 新たな景観拠点づくりの推進（行政文化拠点周辺の魅力の向上、景観形成推進ゾーン（中心市街地周辺、県立自然公園四尾連湖周辺）の先導的な景観形成の推進、代官所跡地などの史跡の整備など）
- 多様な景観ネットワークの形成（金川曾根広域農道周辺のぼたん回廊づくり、里山散策ルート、四尾連湖や蛾ヶ岳周辺の登山環境の整備・充実）
- 地域特性に即した適切な景観コントロールの推進
- 協働による景観まちづくりの推進（良好なまちなみ景観の誘導に向けた地域ルールづくりの検討）

5) 災害に強く頼りになる安心・安全なまちづくりを推進します。

防災

① 自然災害の軽減など安全対策の強化

- 笛吹川・釜無川の2川合流部周辺や印川等の治水対策の強化、浸水被害の未然防止に向けた下大鳥居地区の改修整備の促進、高田地区、下大鳥居地区などの河川沿いの低地における治水及び内水排除の総合的な対策の検討
- 中山間地域や新川沿い、（主）市川三郷富士川線、（主）市川三郷身延線、（県）四尾連湖公園線等の主要道路の崖崩れや土石流等に対する適切な安全対策の強化、治山対策の促進
- 立地適正化計画の策定と計画に基づく災害リスクを考慮した安全な地域への居住誘導、災害危険の高い地域の防災機能の向上と安全確保

② 都市の防災・減災対策の強化

- 市川地区中央部、高田地区周辺の木造密集住宅地や消防活動困難区域の安全性の向上（狭あい道路・行き止まり道路の改善、老朽住宅の建替え、耐震化・不燃化の促進、避難ルートの確保、ブロック塀の改善など）
- 防災拠点や防災施設の充実・強化（本町の防災拠点となる市川三郷町本庁舎の機能強化、大規模避難所となる生涯学習センターの活用検討、市川小学校体育館の災害時活用を考慮した建替え推進、避難場所の機能充実など）
- 中山間地域の孤立化を回避する防災対策の強化（適切な迂回路の検討、防災ヘリポートの充実など）

③ 災害対応力の充実・強化

- 「洪水ハザードマップ」や「土砂災害ハザードマップ」の周知徹底など積極的な情報公開の推進
- 地域防災体制の育成強化、自助共助の意識啓発活動の促進（地域単位の防災マップ作成・周知など）

6) 安心・快適、おだやかに住み続けられる住環境づくりを進めます。

住環境

① 生活基盤の整備・充実と快適・利便性の高い住環境づくりの推進

- 中心市街地をはじめ市街地や集落地の地域の実情に即した生活道路の段階的な改善・整備、市川地区や黒沢地区の一部、木造密集地域における拡幅整備、歩道整備による安全な通学路等の確保
- 公有地や既存施設の利活用による市街地・集落地に不足する身近な公園・広場の確保
- 公共公益施設など生活利便施設の充実、既存施設や空き施設等の有効活用
- 住民の交流・レクリエーション活動の促進に向けた生涯学習センター等の既存施設の利活用、スポーツ施設の整備・充実
- 生涯学習センターや青洲高校を拠点とした協働による地域まちづくり活動の促進
- 公共下水道の整備・下水道への接続促進、合併処理浄化槽の普及促進、河川や水路暗渠化・蓋がけの改善、水路の浄化・水質の保全
- 森林や河川、水路等へのごみ不法投棄の防止

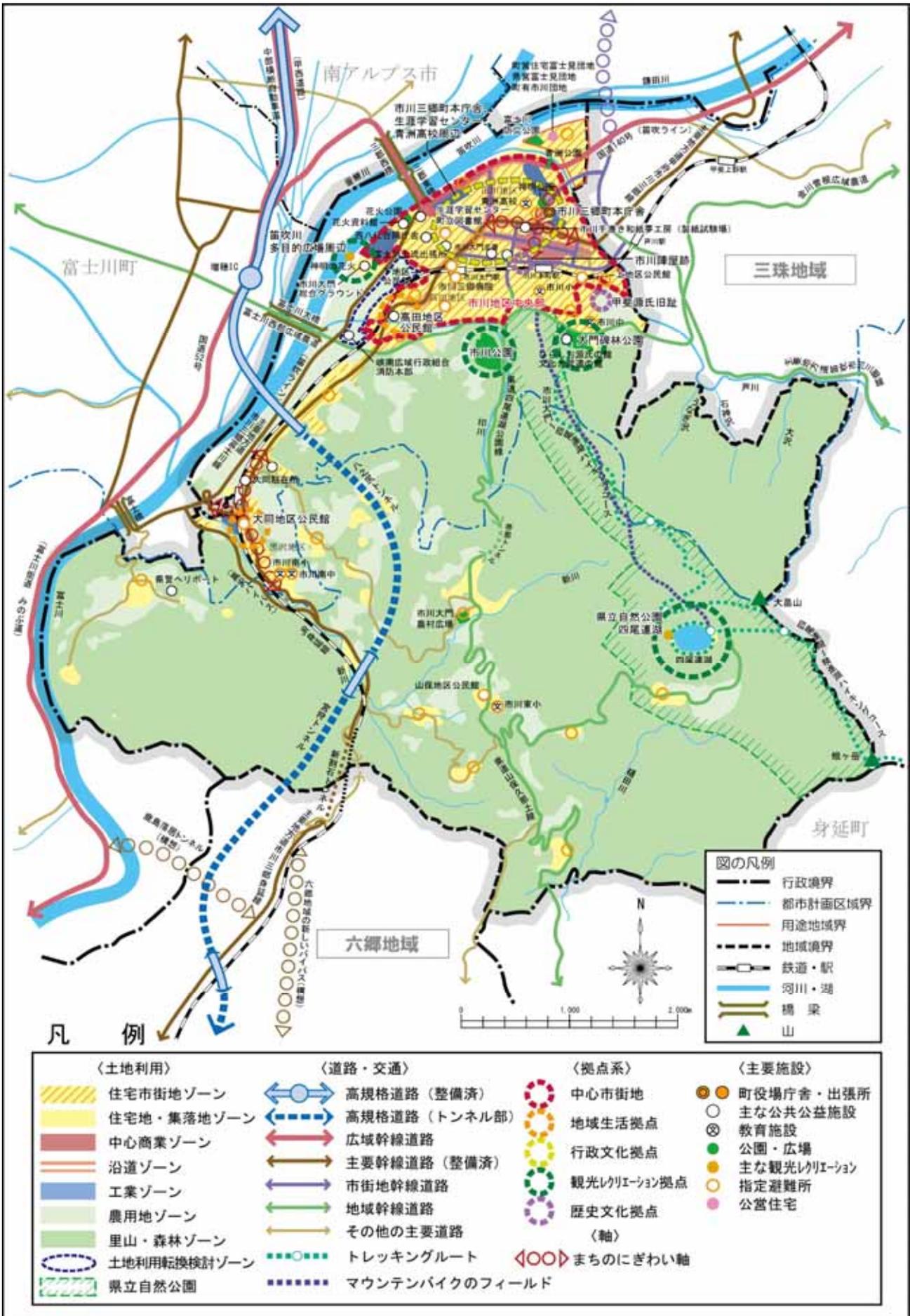
② まちなか居住と良質な住まいづくり、移住・定住の促進

- 中心市街地の空洞化対策、人口維持・増加に向けた計画的な市街地整備、空き家・遊休農地の斡旋、低未利用地や老朽化した町営住宅の更新等の既存インフラの有効活用による移住・定住の促進、建替え・共同化の促進など、総合的な生活環境整備を推進によるまちなか居住の促進
- 高田地区、下大鳥居地区の一部等の生活基盤整備と併せた適正な宅地化の誘導検討
- 定住を促す良質な住まいづくりの推進（公営住宅長寿命化計画に基づく既存の町営住宅の改修、市川団地等の今後の方針の検討など）
- 若者や子育て世代等の移住・定住の促進（空き家バンク制度や遊休農地を活用したファームステイ、農地付き・菜園付き住宅等の農業施策との連携、「お試し住居」等の施策展開など）

③ 思いやりを育む人にやさしいまちづくりの推進

- 主要施設のバリアフリー化の推進（既存公共施設の改善、道路・歩行空間、公園・広場、文化交流施設等のバリアフリー化）
- 安心して暮らせる福祉と健康のまちづくりの推進
 - ・福祉施設の機能充実、地域福祉の充実と福祉のまちづくりの推進
 - ・地域ぐるみの子育て環境・子育て支援の充実
 - ・児童館、市川地区保育所の適正化と機能充実
 - ・地域医療の充実と富士川病院との機能分担による市川三郷病院の建替え推進
 - ・健康増進に資する生涯学習センターの有効活用など健康まちづくりの推進
- 絆を大切にしたい地域コミュニティの維持・育成（学校を中心とした地域活動の活性化、公民館活動の活性化・支援充実、福祉ボランティアの育成、子ども達の交流の機会・場づくりなど）

■地域まちづくり方針図ー市川地域



注）公共施設の配置については、「行財政改革推進計画」の進捗状況に応じて変わります。

3 六郷地域まちづくり方針

■位置

- ・六郷地域は、本町の南西に位置し、北西側は富士川町、南側から東側は身延町に隣接しています。
- ・富士川や山田川が地域を縦貫する自然骨格となっており、富士川の低地部に向かう西傾斜の地形に集落地が開かれ、道路や河川に沿って農地・里山集落地が点在しています。



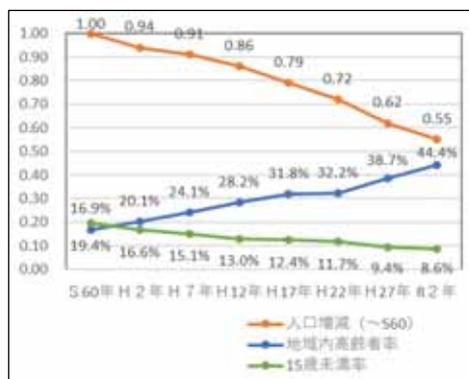
(1) 地域の特性と課題

① 地域の特性

- 人口・世帯数は令和2年現在 2,606 人、1,086 世帯で、人口は3地域の中で最も低く、減少率が高い。地域内高齢者率は令和2年現在 44.4%と3地域の中で最も高く地域の半数近くが高齢者、少子高齢化が進行し集落の維持が懸念されている。
- 江戸時代に富士川舟運の要衝地として岩間陣屋が置かれ、岩間堰の開削や岩間足袋が起業されている。水晶の産出から文久年間に水晶印の篆刻が始まり、明治時代に印章業を基幹産業として発展、日本一の印章の生産地として知られるなど古くからの伝統産業が継承されている。
- 市街地は岩間地区に形成され、低地部の水田を中心に中山間地域に果樹や畑地が分布している。中部横断自動車道六郷ICが開通し、周辺は地域振興に寄与する複合的な拠点整備など、地域の実情に即した計画的な土地利用が検討されている。
- JR 身延線落居駅、甲斐岩間駅が位置し、(主)市川三郷身延線が地域の骨格を形成。中部横断自動車道六郷ICの開通により、周辺のアクセス強化や新たなバイパス整備構想が進められている。
- 六郷庁舎周辺が地域の生活拠点を形成し、印章資料館等の観光資源、富士見ふれあいの森公園やニードスポーツセンター等のレクリエーション施設が分布。
- 中山間地は、ホテルやカタクリ等の生態系や寺所の桜など、豊かな自然環境と良好な眺望景観、のどかな里山の風景がみられ、市街地周辺は昔ながらのまちなみが残るなど、風情と趣のある郷土景観を形成している。



・岩間地区のまちなみ

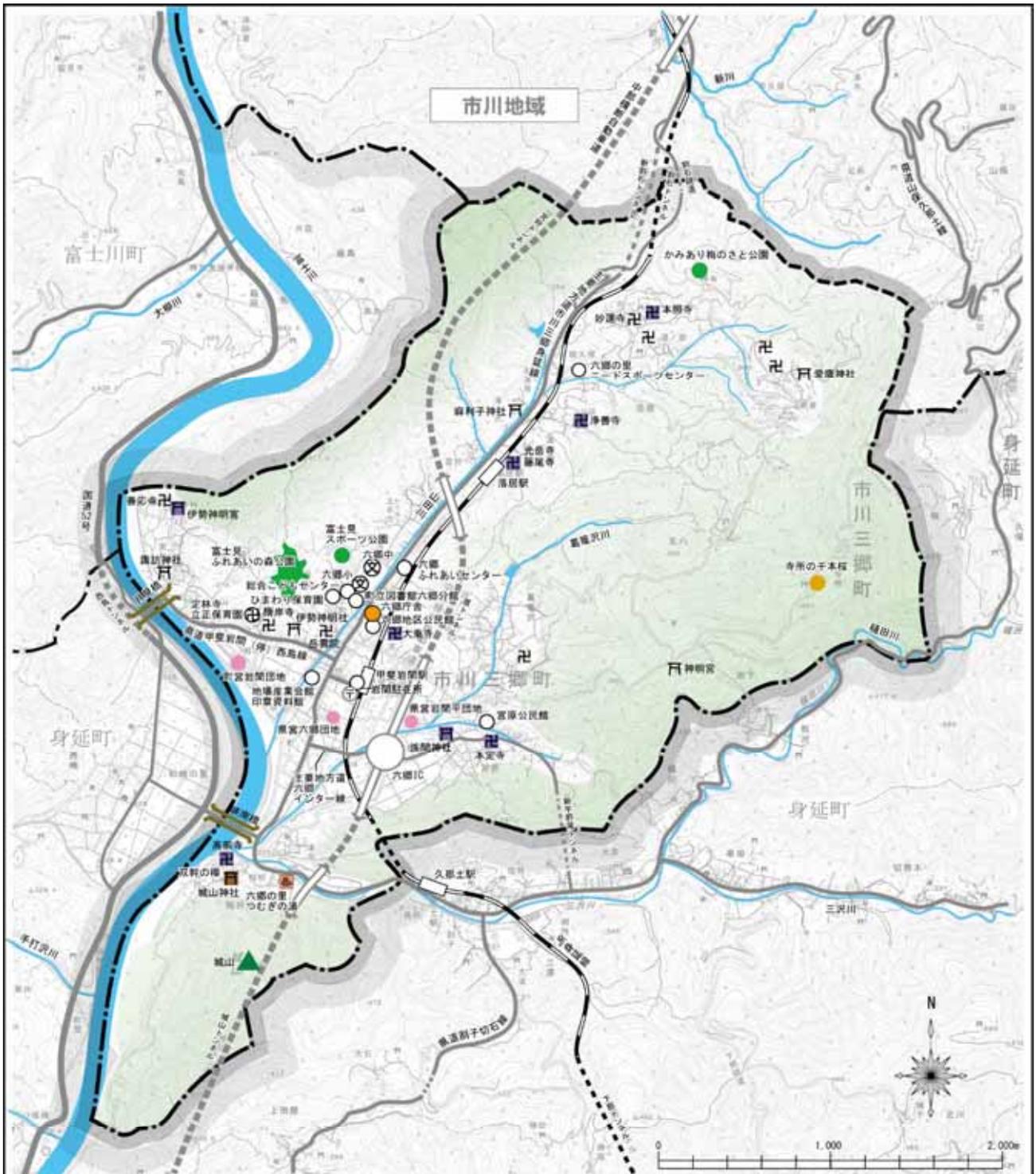


(資料:国勢調査)

② 主要なまちづくりの課題

- 優良農地の保全をはじめ、六郷IC周辺の産業誘致の促進、遊休農地や空き家等の有効活用、中山間地域の住環境の改善など、人口増につながる良好な環境と共生した計画的な土地利用を図ることが必要です。
- 中部横断自動車道山梨～静岡間の開通、六郷ICの整備に伴い、広域連携を担う高速交通体系やIC周辺アクセス、幹線道路網の強化、公共交通利便性の向上など、住民の利便性の向上や体系的な道路交通網の形成が必要です。
- 六郷IC周辺のポテンシャルを活かし、人口減少への対応、移住・定住に結びつく地域産業の活性化など、地域資源を活かした地域振興策を進めることが必要です。
- 豊かな自然環境を守りながら、歴史文化資源や故郷の良好な景観をまちづくりに活用していくことが大切です。
- 自然災害対策をはじめとし、中山間地域の住民の命や生活を守る安全・安心な地域づくりが必要です。
- 地域コミュニティを維持する身近な生活基盤の整備・充実や利便性の高いまちづくりを進めることが必要です。
- 地域コミュニティを育み、地域活動や人材を財産とした交流が活発なまちづくりを進めることが大切です。

■六郷地域の現況特性図



凡 例

- | | | | |
|-----------|----------------|---------|------------|
| ● 町役場庁舎 | ● 主な観光レクリエーション | — 行政界 | ○ 高規格道路 |
| ○ 公共公益施設 | ♨ 温泉施設 | - - 地域界 | — 国道 |
| ⊗ 教育施設 | ≡ 主な橋 | — 鉄道・駅 | — 県道・主要地方道 |
| ● 公園 | ● 公営住宅 | | — 主要な一般道 |
| ■ 主な指定文化財 | | | — 河川 |
| ■ 主な天然記念物 | | | ▲ 主な山地 |
| 社 寺 | | | |

(2) 六郷地域の将来像

① 将来像とまちづくりの目標

■ 将来像と基本理念

< 将来像 >

人と地域・伝統文化を誇り
未来を紡ぐ 交流と活気あるまち

< 基本理念 >

伝統文化の継承と人づくりがつなぐ、地域の未来を紡ぐまちづくり

地域は印章や舟運等の歴史文化や豊かな自然環境に恵まれた、穏やかな暮らしを営むまちです。また、古からのつながりやコミュニティが生まれ、地域活動や人材が潜在資源となっている一方、中部横断自動車道六郷 IC 周辺のポテンシャルを活かした資源や交流を介した地域振興が求められています。これら、故郷の豊かな環境や人と地域・伝統文化を誇り、交流により地域の未来を紡ぐ、「住んでみたい・住み続けたい」と願うまちづくりを進めます。

■ まちづくりの目標

- 六郷 IC 周辺のポテンシャルや地域資源を活かした交流と活気あるまちづくり
- 豊かな環境と郷土の景観を守り・活かすまちづくり
- 地域コミュニティを育む住み続けられるまちづくり

② まちづくりの基本方針

1) 地域特性を守り活かす環境と共生した土地の有効活用を進めます。

地域振興に資する六郷 IC 周辺土地利用構想の検討と計画的な土地利用の誘導をはじめ、住宅地・農業集落地の住環境の改善や中山間地域の過疎対策の推進、農地や里山・森林の保全と活用を推進し、豊かな環境を損なうことのないよう、地域の特性に即した環境と共生した土地の有効活用を進めます。

2) 地域活性化や広域交流活性化に寄与する道路交通網の強化を図ります。

中部横断自動車道六郷 IC 周辺のアクセス強化や、広域連携・地域間連携の強化を図る骨格的な主要幹線道路網の強化を図るとともに、中山間地域の公共交通の利便性の向上、生活道路や安全な歩行者のみちづくりなどを推進し、地域活性化や広域交流活性化に寄与する道路交通網の強化を図ります。

3) 地域資源を活用し交流を創出する活力あるまちづくりを進めます。

六郷 IC 周辺のポテンシャルを活かし、新たな活性化に寄与する拠点整備の検討や、豊かな自然環境や地域の魅力資源を活かす地域振興・活性化の推進、印章等の伝統産業の振興、里山・農山村交流等を促進し、多くの人との新たな交流を創出する活気あるまちづくりを進めます。

4) 故郷の自然環境や歴史文化資源を守り・伝え・活かすまちづくりを進めます。

森林・里山や川・沢に舞うホタル等の豊かな環境、きれいな空気と水環境、印章の文化など培われた歴史文化や穏やかな農山村集落景観等の美しい景観を守り、地域のつながりを更に深め魅力を育み、誇りをもって子どもたちに伝え活かすまちづくりを進めます。

5) 住民の安全・安心を守る防災まちづくりを推進します。

地域は、富士川と中山間地の森林に囲まれた狭い地形条件から、自然災害等への対応が課題となっています。そのため、自然災害に対する安全対策の強化や住民の安全・安心を守る防災まちづくりの推進とともに、自助・共助・公助の地域防災力の充実による安全な地域づくりを推進します。

6) 住み続けたいと思う安心で利便性の高い住環境づくりを進めます。

コンパクトでまとまりある地域は住民のつながりと交流活動が大きな財産となっています。身近な生活基盤の整備・充実をはじめ、地域コミュニティの維持に向けた移住・定住の促進、高齢者や子どもたちが元気な福祉のまちづくりを推進し、地域に住み続けたいと思う安心で利便性の高い住環境づくりを進めます。

(3) 六郷地域まちづくり方針

1) 地域特性を守り活かす環境と共生した土地の有効活用を進めます。

土地利用

① 中部横断自動車道六郷 IC 周辺土地利用構想の検討

○中部横断自動車道山梨～静岡間の開通に伴い、広域交通網の利便性や産業、観光、移住・定住など地域振興に資するポテンシャルを活かし、優良農地の保全と良好な環境との調和など地域特性を考慮した、地域の創意に基づく六郷 IC 周辺土地利用構想の検討

○地域の実情に即した一定のルールに基づく計画的な土地利用の促進に向け、準都市計画区域等の指定など総合的な検討と秩序ある土地利用の誘導



・六郷 IC

② 住宅地・農業集落地の住環境改善と環境と共生した適切な土地利用の誘導

○扇状地に形成される既存住宅地の住環境の改善整備、地域特性に応じた良好な住宅市街地の形成

○甲斐岩間駅周辺や六郷 IC 周辺等の適正な宅地化の検討

○六郷庁舎周辺の地域特性を活かした身近な生活支援機能を担う地域生活拠点の形成

○岩間地区周辺既存商店街の魅力づくり、店舗・生活サービス機能の維持

○中山間地域の農業集落地環境の維持・改善、豊かな環境と共生した農業集落地の形成

○中山間地域の過疎対策の推進（中山間地域総合整備事業の検討、移住や新規就農者確保に向けた空き家・遊休農地の有効活用、生活支援体制支援事業による生活サポートなど）

③ 農地や里山・森林の保全と活用

○富士川など河川扇状地に広がる水田や樹園地など優良農地の保全と農業基盤整備の促進

○遊休農地の有効活用の促進（農地バンク等による営農希望者への斡旋、体験農業、観光農園、景観緑地への活用など）

○荒廃農地の実情に即した森林等への土地利用転換の調整検討

○中山間地の森林資源や市街地南側の斜面樹林、里山の維持・保全と活用（林業振興、放置山林などの維持管理とレクリエーション活用など）

2) 地域活性化や広域交流活性化に寄与する道路交通網の強化を図ります。

道路・交通

① 広域連携・地域間連携の強化を図る骨格的な主要幹線道路網の強化

■ 中部横断自動車道六郷 IC 周辺のアクセス強化、新たなバイパス（構想）の整備促進

○広域交通網の連携強化や地域住民の利便性の向上に向けた幹線道路のアクセス機能等の強化、六郷 IC 周辺の複合的な交流拠点施設整備の検討

○六郷地域の新たなバイパス（構想）、鹿島落居トンネル（構想）の整備検討と整備促進

○国道 52 号へのアクセス強化、国道 300 号（町外）へのアクセス路線の検討

■ 骨格的な幹線道路網の整備・強化

○岩間地内（主）市川三郷身延線の拡幅や歩道整備、交通環境改善など機能強化の促進

■ 主要生活道路の改善・整備

○その他市街地や集落地域を結ぶ（県）甲斐岩間（停）西島線など主要生活道路の改善・整備

② 公共交通の利便性の向上

○JR 身延線の利便性の向上と観光利用の促進、甲斐岩間駅のパークアンドライドの促進、サイクルオアシス・駐輪場の整備、サイクルトレインの促進

○コミュニティバスなどバス交通利便性の充実、町民の利用しやすい公共交通の検討

③ 安全で快適な暮らしのみちづくり

- 六郷 IC 周辺や主要幹線道路、通勤・通学ルートの歩道の改善・整備、路側帯の確保、岩間地区などの通過交通を抑制した歩行者を優先した安全で快適なみちづくりの推進
- 観光施設周辺主要道路の自転車通行帯の整備促進
- 交差点の改善や地域実情に即した交通規制の検討など交通安全対策の強化

3) 地域資源を活用し交流を創出する活気あるまちづくりを進めます。

地域振興・活性化

① 中部横断自動車道六郷 IC 周辺の複合的な拠点整備の検討

- 六郷 IC 周辺は新たな産業活性化交流拠点として、観光施設整備や特産品の開発等の観光集客、地域雇用につながる企業誘致など、交流人口の拡大や地域振興、広域交流活性化に寄与する複合的な拠点整備（六郷 IC 周辺活性化事業）の検討

② 郷の拠点等の機能充実と魅力の向上

- 六郷庁舎周辺の生活利便施設やサービス機能の維持、身近な交流機能を担う地域生活拠点の形成
- 岩間地区既存商店街の生活に身近な商店街機能の維持（地域商業にぎわい創出支援事業の活用など）

③ 地域の魅力資源を活かす地域振興・活性化の推進

- 観光レクリエーション拠点や観光資源の機能充実と魅力の向上（富士見ふれあいの森公園、地場産業会館（印章資料館）の活用など）
- 特産品開発や直売所整備等の観光集客や企業誘致、町民の交流拠点の整備など、住民の創意に基づいた地域の魅力を発信し体感するふるさと交流拠点の整備検討
- 水辺や自然資源を活用した都市住民との交流促進（富士川等の親水空間、月見橋周辺の資源活用、桜の里の保全と活用、里山ツアー・体験活動、森林のレクリエーション活用など）
- 歴史文化資源等の観光活用（双幹の櫓等の史跡・文化財、富士川舟運の河岸・岩間陣屋跡など）
- 観光基盤・観光ルートの整備、広域観光ルートの創出（六郷 IC 整備に伴う広域交通アクセスの活用、（主）市川三郷身延線の広域観光ルート、山道ハイウェイの活用と PR など）
- 伝統行事・祭の継承とイベントの充実、積極的な観光 PR の展開（地場産業まつり、花火、灯籠流し、観光案内窓口の設置、周辺地域と連携した広域観光の展開と地域振興など）

④ 伝統産業や地場産業の振興

- 印章等の伝統産業の育成と活性化（3地域の伝統産業の連携強化と啓発活動、地場産業会館、印章資料館の有効利用、伝統産業体験学習の推進、異業種との連携による新たな製品開発の促進など）
- 農業の振興・活性化（農業基盤整備の促進、遊休農地の有効活用、農業と異業種との連携、後継者・担い手育成など生産支援体制の強化、農業の6次産業化や特産品の充実、地産地消の促進など）
- 都市と農山村の交流促進（グリーンツーリズム、観光農園・体験農園、農産物直売所の充実、農山村の特色を活かした農業体験型観光の推進、地場産業体験ツアー事業の展開など）



・印章資料館

4) 故郷の自然環境や歴史文化資源を守り・伝え・活かすまちづくりを進めます。

水と緑、景観

① 美しい環境と豊かな自然の保全と活用

- 豊かな自然環境の保全と活用（森林資源の保全と維持管理、里山体験ツアーなど）
- 良好な水辺環境の保全とレクリエーション活用（富士川、山田川等の川や沢など）
- 双幹の櫓などの文化財や史跡等の緑の保全
- ホテルやカタクリなど、貴重な動植物の生息環境の維持・保全、生息域の拡大
- 自然環境に配慮した環境負荷の軽減と循環型社会をめざす環境にやさしいまちづくりの推進

② 故郷の資源を守り活かす景観まちづくりの推進

- 良好な眺望景観の活用と PR（ダイヤモンド富士を望む日向山など眺望域の保全と景観コントロール、アクセス道路の整備、眺望場所の魅力の向上など）
- 歴史・文化的景観の保全と活用（富士川舟運・河岸等の顕在化、地域に祀られる城山神社双幹の櫓、印章の伝統技術や「十鐘山房印拳」の活用、浅間神社の神楽等の伝統芸能や印章祭等の継承など）
- 寺所千本桜周辺など中山間地域の自然や里山と一体となった特徴的な農山村集落景観の保全と活用
- 新たな景観拠点づくりの推進（六郷庁舎周辺の地域生活拠点の魅力の向上、景観形成推進ゾーン（六郷 IC 周辺）の先導的な景観形成の推進、身近な景観スポットの創出など）
- 多様な景観ネットワークの形成（里山散策ルート、ハイキングルートの整備・充実）
- 地域特性に即した適切な景観コントロールの推進

5) 住民の安全・安心を守る防災まちづくりを推進します。

防災

① 自然災害に対する安全対策の強化

- 富士川や山田川、葛籠沢川等の治水対策の強化、河川沿いの低地の内水排除など総合的な対策の検討
- 中山間地域や山田川沿い、（主）市川三郷身延線等の主要道路の崖崩れや土石流等に対する適切な安全対策の強化、治山対策の促進
- 立地適正化計画の策定と計画に基づく災害リスクを考慮した安全な地域への居住誘導、災害危険の高い地域の防災機能の向上と安全確保

② 安全・安心を守る防災まちづくりの推進

- 木造密集住宅地や消防活動困難区域の安全性の向上（狭あい道路・行き止まり道路の改善、老朽住宅の建替え、耐震化・不燃化の促進、避難ルートの確保、ブロック塀の改善など）
- 防災拠点や防災関連施設の充実・強化（避難場所の機能充実など）
- 中山間地域の孤立化を回避する防災対策の強化（適切な迂回路の検討、防災ヘリポートの充実など）

③ 自助・共助・公助による防災まちづくりの推進

- 「洪水ハザードマップ」や「土砂災害ハザードマップ」の周知徹底など積極的な情報公開の推進
- 地域防災体制の育成強化、自助共助の意識啓発活動の促進（地域単位の防災マップ作成・周知など）

6) 住み続けたいと思う安心・利便性の高い住環境づくりを進めます。

住環境

① 生活基盤の整備・充実と利便性の高い住環境づくり

- 地域の実情に即した生活道路の段階的な改善・整備、歩道整備による安全な通学路等の確保
- 公有地や既存施設の利活用による市街地・集落地に不足する身近な公園・広場の確保
- 公共公益施設など生活利便施設の充実、既存施設や空き施設等の有効活用
- 公共下水道、合併処理浄化槽の普及促進、安定的な生活用水の確保と管理体制の強化
- 森林や河川、水路等へのごみ不法投棄の防止、資源ごみ回収等の改善・充実

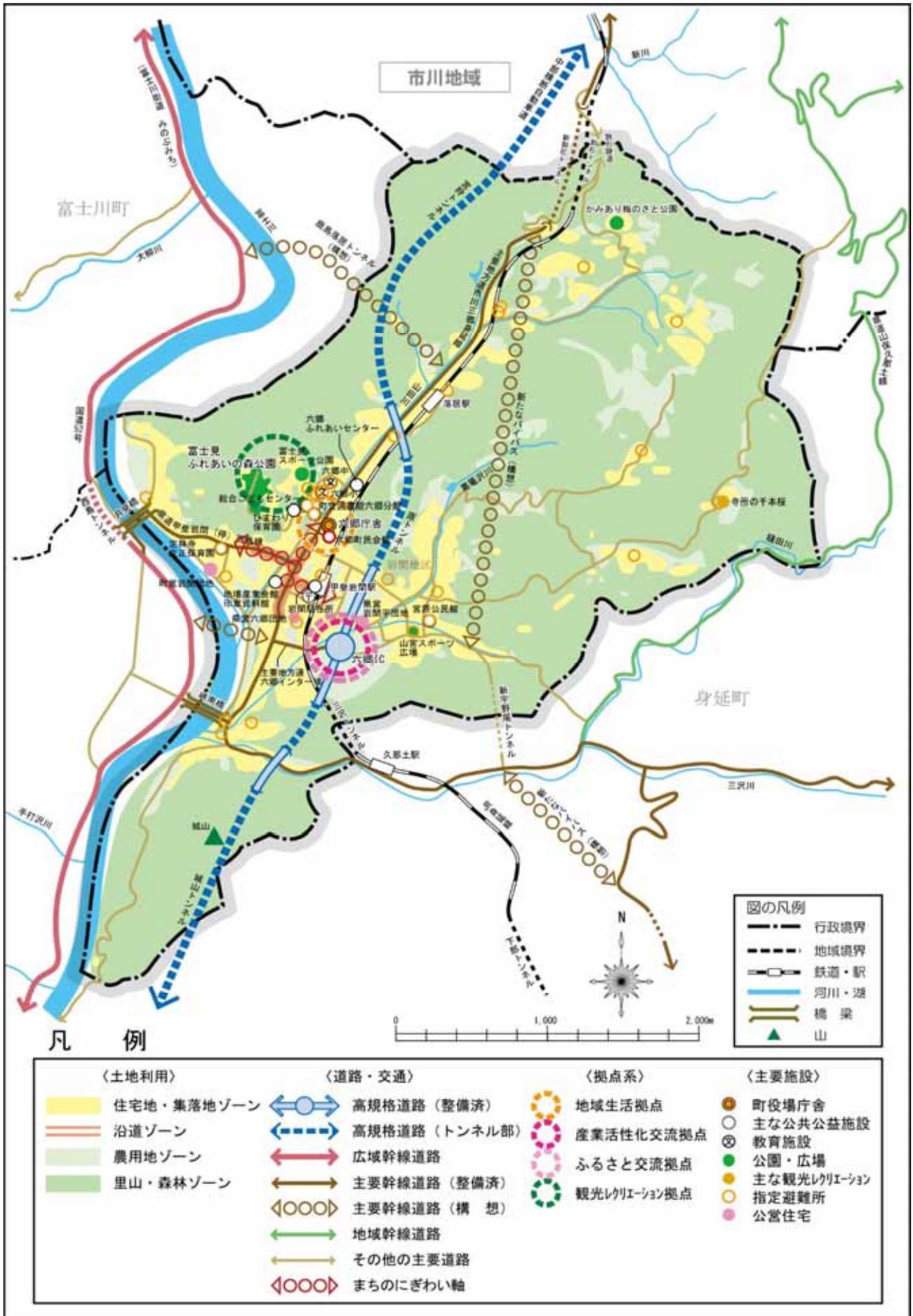
② 地域コミュニティの維持に向けた住まいづくりと移住・定住の促進

- 中山間地域の過疎対策と併せた移住・定住促進に向けた空き家や遊休農地等の有効活用
- 定住を促す良質な住まいづくりの推進（定住促進に向けた公営住宅の有効活用など）
- 若者や子育て世代等の移住・定住の促進（空き家バンク制度等を活用したファームステイ、農地付き・菜園付き住宅等の農業施策との連携、「お試し住居」等の施策展開、支援策の充実など）

③ 高齢者や子どもたちが元気な人にやさしいまちづくりの推進

- 主要施設のバリアフリー化の推進（既存公共施設の改善、道路・歩行者空間、公園・広場、文化交流施設等のバリアフリー化）
- 安心して暮らせる福祉と健康のまちづくりの推進
 - ・地域福祉の充実と福祉のまちづくりの推進
 - ・地域ぐるみの子育て環境・子育て支援の充実
 - ・地域医療の充実と医療機関の連携強化による地域医療体制の強化
 - ・福祉増進の検討と健康まちづくりの推進
- 交流が活発なあたたかいまちづくり（地域コミュニティや交流の維持・継続、公民館活動の充実、ボランティアの育成・支援、高齢者や子どもたちなどが地域で楽しむ場づくり）

■地域まちづくり方針図—六郷地域



注）公共施設の配置については、「行財政改革推進計画」の進捗状況に応じて変わります。